

新型コロナウイルス感染防止のためのご理解・ご協力のお願い（企画事業編）

国立能登青少年交流の家

当施設の企画事業に参加される青少年の皆さまは、必ず保護者の方と、この資料を読んでください。

当施設では「手洗いの徹底」「マスクの着用」「3密を避けること」や室内の換気、対人距離の確保等をはじめとした基本的な感染症対策を行ったうえで、企画事業を実施いたしますが、今後も新型コロナウイルス感染には引き続きの注意を要しますので、当面の間は以下の対応を行います。

企画事業にご参加いただくにあたり、ご理解・ご協力をお願いいたします。

1. 当施設の取り組み

(1) 利用人数および活動プログラム

- ・宿泊利用：宿泊定員の概ね半数（宿泊室：約200名、キャンプ場：約50名）に制限
- ・活動プログラム：「3密」を避けるよう、内容の一部変更や実施人数の制限

(2) 県外からの利用団体

- ・利用当日において利用者の居住する都道府県または石川県・羽咋市の方針により県をまたぐ移動の自粛が求められる場合は、利用を制限

(3) 研修室等の使用

- ・対人距離を確保するため、机・椅子の間引きや利用定員を概ね半数以下として配室
- ・定期的にドアノブや電気のスイッチ等の消毒および清掃、換気の実施

(4) 食堂および浴室の使用

- ・利用が一定時間に集中し混雑しないよう、利用時間の割振りを行う。

(5) フレッシュタイム・イブニングタイム

- ・当面の間中止（企画事業としての実施は除く）

(6) 代表者会議

- ・原則中止とするが、施設から必要な連絡事項がある場合は、実施する。

(7) 職員の安全確保

- ・検温および健康記録の実施
- ・咳エチケット、マスクの着用、手洗い、指先の消毒の徹底

2. 参加者の皆様へのお願い

(1) 事業当日まで

- ・事業当日までの14日以内に発熱（37.5度以上）や咳、咽頭痛、息苦しさ（呼吸困難）等の風邪症状がある方は、ご参加を控えていただくようご協力をお願いします。
- ・宿泊室やテント内の密度を下げるため、通常より多くの部屋数やテント数を割振ります。

(2) 事業参加中

【日帰り・宿泊共通】

- ・体温計、マスク、ハンカチ、消毒液、マスク等を処分する袋を持参してください。
- ・起床後、体調確認及び検温をしてからご来所ください。
- ・咳エチケット、マスクの着用、手洗い・手指の消毒の徹底をお願いします。
- ・参加者同士の間隔を開け、近距離での会話や発声、高唱は避けてください。
- ・食堂利用時もマスクを着用し、レーンでは最低1m以上の間隔を開け並び、会話は控えてください。
- ・食堂着席時も間隔を開け、対面にならないように着席をお願いします。
- ・室内の活動時は30分に一度の定期的な換気にご協力ください。
- ・使用した研修室、講堂、体育館のドアノブや電気のスイッチ等の消毒および、使用した活動の物品等の消毒にご協力ください。

【宿泊を伴う事業】

- ・夜19時頃、宿泊時の朝の健康チェック（検温等）の実施にご協力ください。
- ・入浴する際、特に脱衣場においても可能な限りマスクを着用し、飛沫を飛ばさない様に会話を控え、素早く済ませてください。
- ・宿泊室でも定期的に換気を行ってください。

(3) 事業参加中に発熱・咳等の症状が出た場合について

■新型コロナウイルス感染症である場合を想定した対応をいたしますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

- ・体調が優れない場合は、すぐに職員にお知らせください。症状によっては、ご帰宅いただくこともありますので、保護者の方は**常時電話連絡および迎えが可能な体制**を整えてください。
- ・発症者と同室者は全員、別室に移動していただきます。
- ・発症した場合、保護者の方に電話連絡し、発症者を迎えに来てもらいます。
- ・他の参加者の保護者にも状況について電話連絡させていただきます。
- ・発症者が出た場合、事業が途中で中止となる場合があります。（食費分は返金します）

(4) 事業終了後について

- ・発症し帰宅した方がいる場合は、その後の経過（診断結果等）を当施設に必ずご連絡をお願いします。
- ・利用終了後2週間の間に、発症した場合も当施設にご連絡をお願いします。

3. その他

本内容は、令和3年6月14日現在の状況に基づくものであり、今後適宜更新します。